

議長



副議長



事務局長



次長 ✓

秘書室長



室長補佐



主任主査



復 命 書

平成19年11月16日

愛知県議会議長殿

愛知県議会事務局

次 長 和 泉



主 査 安 田 武 彦



下記のとおり出張した結果を報告します。

記

旅行期間	平成19年10月25日(木)から平成19年11月1日(木)まで	
用務先	所在地	フィンランド共和国ヘルシンキ市、フランス共和国パリ市、ヴァルドワーズ県
	名称	フィンランド政府、フィンランド航空、ヘルシンキ観光局、フランス政府、エールフランス KLM 航空、在仏日本国大使公邸、ヴァルドワーズ県家族手当公庫
用務名	議長海外渡航への随行	
用務の概要	議長が、フィンランド及びフランスにおける中部国際空港への新規就航等空港セールス及びフランスにおける少子化対策の調査を行うのに随行した。詳細は別添のとおり。	

平成19年度 議長海外渡航日程

	期日	発着地	発着時間	交通機関	目的等	訪問先
1	2007年 10月25日 (木)	中部国際空港発 ヘルシンキ着	11:00 15:10	AY80		【ヘルシンキ泊】
2	10月26日 (金)		14:00	専用車	表敬訪問	フィンランド政府
			14:20			
			15:30			
			16:30			
					【ヘルシンキ泊】	
3	10月27日 (土)		10:30	専用車	観光事情	ヘルシンキ観光局
			11:00			
						【ヘルシンキ泊】
4	10月28日 (日)	ヘルシンキ発 パリ着	12:15 14:20	AY875		【パリ泊】
5	10月29日 (月)		9:30	専用車	表敬訪問	フランス政府
			10:00			
			15:00			
			16:00			
			18:30			
20:20		空港セールス	エールフランスKLM 航空 在仏日本大使館で レセプション			
					【パリ泊】	
6	10月30日 (火)	パリ発	8:30	専用車	少子化対策	ヴァルドワーズ県家族手当公庫
		ヴァルドワーズ県着	9:50			
			10:00			
			12:00			
		ヴァルドワーズ県発	14:00			
		パリ着	15:20			【パリ泊】
7	10月31日 (水)	パリ発	16:50	AF296		【機中泊】
8	11月1日 (木)	中部国際空港着	12:50			

フィンランド政府表敬訪問

1. 日 時

平成19年10月26日（金）午後2時から午後2時20分まで

2. 場 所

国会議事堂

3. 出席者

フィンランド政府

マッティ・ヴァンハネン首相 他3名

愛知県議会

青山議長

愛知県執行部

神田知事、的井地域振興部長、

中部国際空港株式会社

平野取締役会長

4. 会議の内容

フィンランドと日本の航空旅客業の将来について意見交換した。

5. 主な発言

神田知事あいさつ：

- ・お忙しい中、面会の機会を設けていただき、ありがたく思う。
- ・2年前の万博は2200万人の来場者となり、大成功であった。
- ・併せて、中部国際空港－ヘルシンキ便も就航（2006年6月）し、人的交流が両国の間で進んでいる。
- ・愛知県は日本一経済の強い地域であり、フィンランドとの移動交流を進めたいし、増やしたい。

議長：

発言なし。

フィンランド航空における空港セールス

1. 日 時

平成19年10月26日（金）午後3時30分から午後4時30分まで

2. 場 所

フィンランド航空本社

3. 出席者

フィンランド航空

ヒエノネン社長、アルレ副社長、コステルマー路線担当副社長

愛知県議会

青山議長、和泉事務局次長、安田事務局主査

愛知県執行部

神田知事、的井地域振興部長、前田航空対策課主幹、近藤航空対策課主査、

鈴木政策調整課主査、社本ジェトロ・パリ駐在員

中部国際空港株式会社

平野取締役会長、山中営業本部長、 航空営業部マネージャー

4. 会議の内容

名古屋線は大変重要な位置にあるという認識を互いに確認した。

5. 主な発言

ヒエノネン社長あいさつ：

- ・当社のネットワークに於いて名古屋線は大変重要な位置にあり評価している。
- ・日本市場はフィンランド国内に次ぐ重要なマーケットであり、当社も日本を宣伝している。

神田知事あいさつ：

- ・就航・運航していただいていることへのお礼を申し上げたい。
- ・我々地元はポテンシャルが高く、今日は議会の代表も応援に駆けつけてくれた。

平野会長あいさつ：

- ・就航の決断に対するお礼を申し上げたい。
- ・今後も収益向上に向け、御社と一緒に努力していきたいと考えている。

議長発言：

なし。

ヘルシンキ観光局における調査

1. 日 程

平成19年10月27日（土）午前10時30分から午前11時00分まで

2. 場 所

ヘルシンキ観光局観光案内所

3. 会議の内容

職員による説明の聴取

4. 説明概要

- ・ EU 諸国の首都の中で最も北に位置している。
- ・ ここで味わうことのできるライフスタイルは数多くのアクティビティや数百ものイベントに接すること、さらには、フレンドリーなヘルシンキの人々とのふれあいにより無限大に広がる。
- ・ 西洋と東洋の両方の文化から受けた影響を見受けることができる。
- ・ 何百もの小さな島が群島を形成しているため「バルト海の乙女」とも呼ばれ、ボートツアーなど、観光に最適な環境が整っている。
- ・ 市内には 450 年を超える歴史の中で生み出された、いくつものユニークな建築様式がある。その「フィンランドデザイン」はヘルシンキを世界的に有名な都市へと成長させた。
- ・ 自然の美しさと現代の最新技術がうまく融合し、また、古きよき伝統と現在のめざましい発展とが混ざり合った都市である。
- ・ 自然の中を散策するとき感じることのできる静けさ漂う森のすぐそばに、緑が青々とした公園があったりする。
- ・ すべては簡単に手の届く場所にあり、観光客の欲求を十分に満たすことのできる都市である。

フランス政府表敬訪問

1. 日 程

平成19年10月29日（月）午前9時30分から午前10時まで

2. 場 所

フランス経済・財政・雇用省

3. 出席者

フランス政府

ノヴェリ企業・貿易担当閣外大臣 他3名

愛知県議会

青山議長

愛知県執行部

神田知事、的井地域振興部長、

中部国際空港株式会社

平野取締役会長

4. 内 容

日本がグローバル化の中で頭角をあらわしており、大いに評価していることなど、政府関係者の意見を聴取。

5. 主な発言

神田知事あいさつ：

- ・愛知万博に出展参加いただき、お礼を申し上げます。
- ・お力添えのおかげで愛知万博は成功裡に閉幕できた。
- ・来年は「日仏交流150周年」という節目の年に当たり、あらゆる面で日仏間の更なる交流を拡大する気持ちを伝えるため、本県の県議会議長と中部国際空港株式会社の会長も同行した。

ノヴェリ大臣あいさつ：

- ・日本で経済的に第3位の地域の長をお迎えできて光栄である。
- ・日本からフランスへの企業進出のうち、約20%が愛知県の企業であり、愛知県を非常に重視している。

議長発言：

なし。

エールフランスKLM航空における空港セールス

1. 日 時

平成19年10月29日（月）午後3時から午後4時まで

2. 場 所

エールフランスKLM航空本社

3. 出席者

エールフランスKLM航空

パトリ副社長、XXXXXXXXXX 上席秘書、テネバン日本支社長

愛知県議会

青山議長、和泉事務局次長、安田事務局主査

愛知県執行部

神田知事、的井地域振興部長、前田航空対策課主幹、近藤航空対策課主査、鈴木政策調整課主査、社本ジェトロ・パリ駐在員

中部国際空港株式会社

平野取締役会長、山中営業本部長、XXXXXXXXXX 航空営業部マネージャー

4. 会議の内容

フランス日本間の航空便就航状況について意見交換した。

5. 主な発言

挨拶などはなかった。
議長発言なし。

在仏日本大使館レセプション

1. 日 程

平成19年10月29日（月）午後6時30分から午後8時20分まで

2. 場 所

在仏日本国大使公邸

3. 出席者

出席回答115名（日本人44名、非日本人71名）
実際出席90名（日本人44名、非日本人46名）

4. 会議の内容

会場内に愛知県PRブースを設け、観光、産業等の紹介を行うとともに、利用拡大に向けた需要喚起を促した。

5. 議長スピーチ（概要）

本日は、フランス政府、エールフランスKLM航空をはじめ、フランスの旅行会社や企業、そして多くの関係者の方々にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、今回の開催に際しまして、これまで、ご協力、ご尽力をいただきました関係の皆様へ改めて厚くお礼申し上げます。

このレセプションは、愛知万博と中部国際空港の成果により、今、日本一元気な地域として注目を浴びております愛知県と、空の玄関として需要拡大が期待される中部国際空港について、より理解を深めていただこうとするものであります。そして、このレセプションが、欧州と愛知県相互との交流を拡大し、中部国際空港と欧州を結ぶ航空路線の利用拡大につながることを期待しております。

ヴァルドワーズ県家族手当公庫における調査

1. 日 時

平成19年10月30日（火）午前10時から正午まで

2. 場 所

ヴァルドワーズ県家族手当公庫会議室

3. 出席者

ヴァルドワーズ県家族手当公庫

ルプティコールゼネラルマネージャー、モンテール社会福祉部長、
オトー手当金責任者、ドゥフォーススタッフ責任者

愛知県議会

青山議長、和泉事務局次長、安田事務局主査

4. 会議の内容

出生率が欧州の中で一番であるフランスの税政策、労働権利、年金、家族政策などについて公庫スタッフなどから説明聴取。

5. 主な発言

青山議長：

- ・ 日本は高齢化と少子化が進んでおり、これは国をあげての大問題である。しかし、少子化対策に決定打はなかなかなく、労働政策とか税政策とか、いくつかのものを組み合わせないと難しい。
- ・ 医療保険や社会保険（年金も含めて）、さらには介護保険、これら全体の制度が将来にわたって懸念されている。

ルプティコールゼネラルマネージャー：

- ・ 家族政策は国によるものであり、そこに各県のローカルの政策が加わるという制度である。30年前から政府が努力していることが、今、実を結んでいるのであり、私たちがやってきたことを皆様にお話して、理解していただくことは必ずやプラスになることと思う。